



皆野の
こどもたちの
きらきら時間♪

Junior ☆ Museum

ジュニアミュージアム



三沢小4年
長島 奨真
しょうま
さん

ぼくのおばあちゃん

ぼくのおばあちゃんは、とってもやさしくて、とっても字が上手です。ぼくが家で宿題をやっていると、いつもそばで見えてくれます。ぼくの書いた字が、少しわかりずらかったら、すぐに教えてくれます。上手に書くと、とってもうれしそうににこにこして、ほめてくれます。苦手な計算や漢字も、わかりやすく教えてくれるのでうれしいです。音読や自学をわすれていると、すぐに、「音読と自学やった？」と、やさしい声で、教えてくれるので、とってもうれしいです。

ぼくは、家ではおばあちゃんのことを「ばあば」とよんでいます。ばあばは、ぼくが小さな時からいっしょだったので、今でもママよりいっしょにいることが多いです。

ぼくは、たまにばあばに肩もみをしてあげます。

「ありがとう。」
と、ばあばは言ってくれて、とてもうれしそうです。ばあばは、おいしいごはんも作ってくれます。ぼくは、こんなばあばが近くにいてくれて幸せです。かわいときもあるけれど、いつもそばにいてくれるばあばは、ぼくの大切な家族です。

(評) 日常の温かい家族の様子が、自分の言葉で素直に書けました。いつまでも仲良くね。

「サンゴの町と海の仲間」



皆野小5年
黒澤 陽
ひろし
さん

(評) 大きなサンゴが大好きな海の仲間たちの様子が伝わってきます。



皆野小6年
加藤 諒真
りょうま
さん

(評) 点画のつながりを意識して、ていねいに書くことができています。



国神小4年
井上 愛理
あいり
さん

(評) 筆順と字形の關係に気をつけて書けました。

児童の見守り放送

皆野小3年
野口 輝大
あきひろ
さん



「わすれられた思い出たちの集まり」



皆野中2年
中野 愛
あい
さん



〈本人のコメント〉
自分の「好き」や「気になる」をたくさん詰めこみました。

